

よんでネット*

春号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

ポリーとはらぺこオオカミ

キャサリン・ストー 作 掛川恭子 訳

ある日、はらぺこオオカミがポリーを食べてやろうと、ポリーの家にやってきました。ポリーはかっこいい女の子。オオカミが
 いい方法を考え出したつもりでも、^{さくせん}作戦はうまくいきません。
 「むかしばなし」のマネをして家をふきたおそうじしたり、
 おかあさんの声をマネしたりするオオカミにポリーは言います。
 「それじゃだめよ、オオカミさん。」



シリーズに
 『はらぺこオオカミがんばる』
 『まだまだ はらぺこオオカミ』
 があります。

岩波書店〔933ス〕

ひこうきがとぶまえに

こうくう せいびし しごと
航空整備士の仕事

(TEXAS Book Sellers しごと絵本シリーズ) さく: キッチンミル



テキサスブックセラーズ
 [E・絵本のコーナー]

ひこうき と
 飛行機が安全に飛びたち、また地上にもどって
 くるには飛行機の点けんやしゅうりが欠かせません。
 こうくう せいびし きたい
 航空整備士が機体のすみずみまで整備するのに
 2週間かかり、点けんする部品はなんと300万点いじょう
 あるそうです! そんな航空整備士のあじとを
 写真で見られる絵本です。

ねこもおでかけ

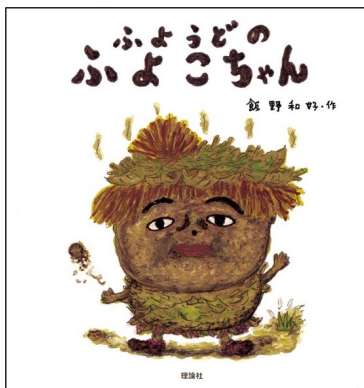
(わくわくライブラリー)

朽木祥作 高橋和枝 絵

小学生の男子、信ちゃん^{しん}が公園で捨てねこ^すをひろった。「トリスケ」と名づけられた子ねこは信ちゃんの家でかわれることに。トリスケはちょっとふしぎなねこ。信ちゃんが、話しかけると「アニャン」と答える。なんかやりとりができるみたい。ある日、信ちゃんは近所の知らない家でトリスケを見かけた。声をかけると…。

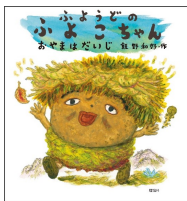


講談社 [9137]



ふようどのふよこちゃん 飯野和好作

ふようど^{ふようど}って は、はのおふとんのなかで、ゆくりそだったえいようた^{えいようた}、ふりの土のこと。だから、ふようどのふよこちゃん^{ふよこちゃん}は、とてもいいにおい！ある日ふよこちゃん^{ふよこちゃん}は、おかあさん^{おかあさん}からむかし^{むかし}のはなし^{はなし}をききました。わたしたち^{わたしたち}ふようど^{ふようど}は、農家の^{のうか}人たちのはたけ^{はたけ}にまいてもらって、土を元氣^{げんき}にしていたそうです。ところがあるとき、白いくさい水^{白いくさい水}がまかれて…。



ふよこちゃんがお山に出かけるおはなし

理論社 [E・絵本のナナ]

『ふようどのふよこちゃん おやまはだいじ』もあるよ！

にじをかけたむすめ

中国・苗族のむかしばなし

宝迫典子文 後藤仁 絵

むかし、ある村にしゅうの上手な花辺^{じょうず}という美しいむすめ^{ホワビエン}がいました。ひょうばん^{うん}をきいた王さまは、いやがるむすめ^{しゅ}を城へ連れ去ります。村が恋^{こい}しいむすめ^{こい}は王さまのいうことをききません。そこで王さまは「七日以内に、生きてるように見えるオンドリ^{おのドリ}をしゅうすればねがい^{ねがい}をきく」と約束^{やくそく}します。村に帰りたいむすめ^{むすめ}がしゅうをしあげるとふしぎなことが…。



BL出版 [E・絵本のナナ]